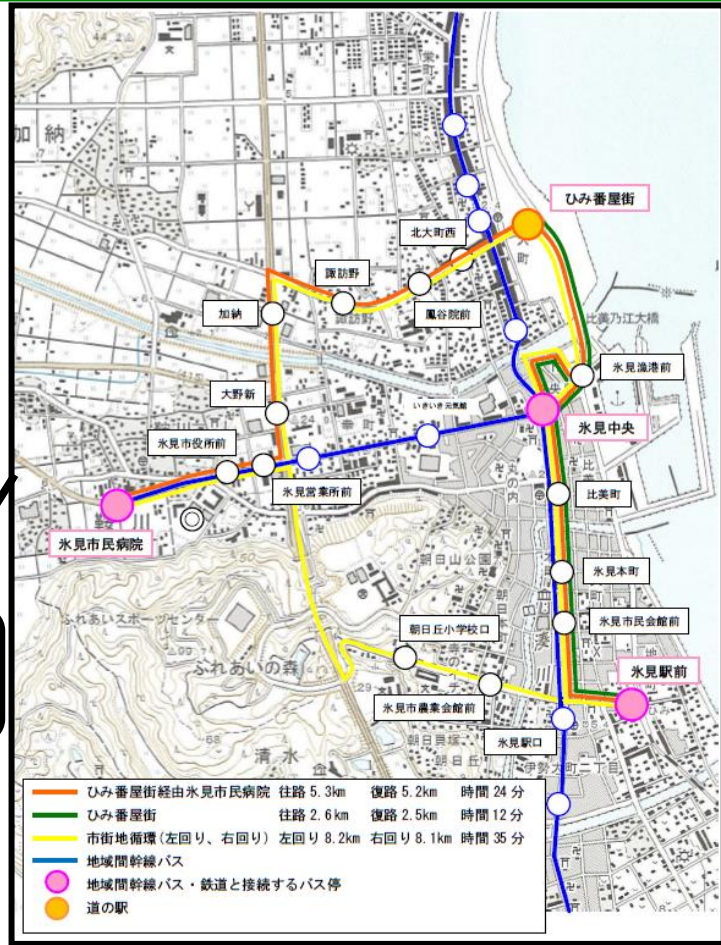
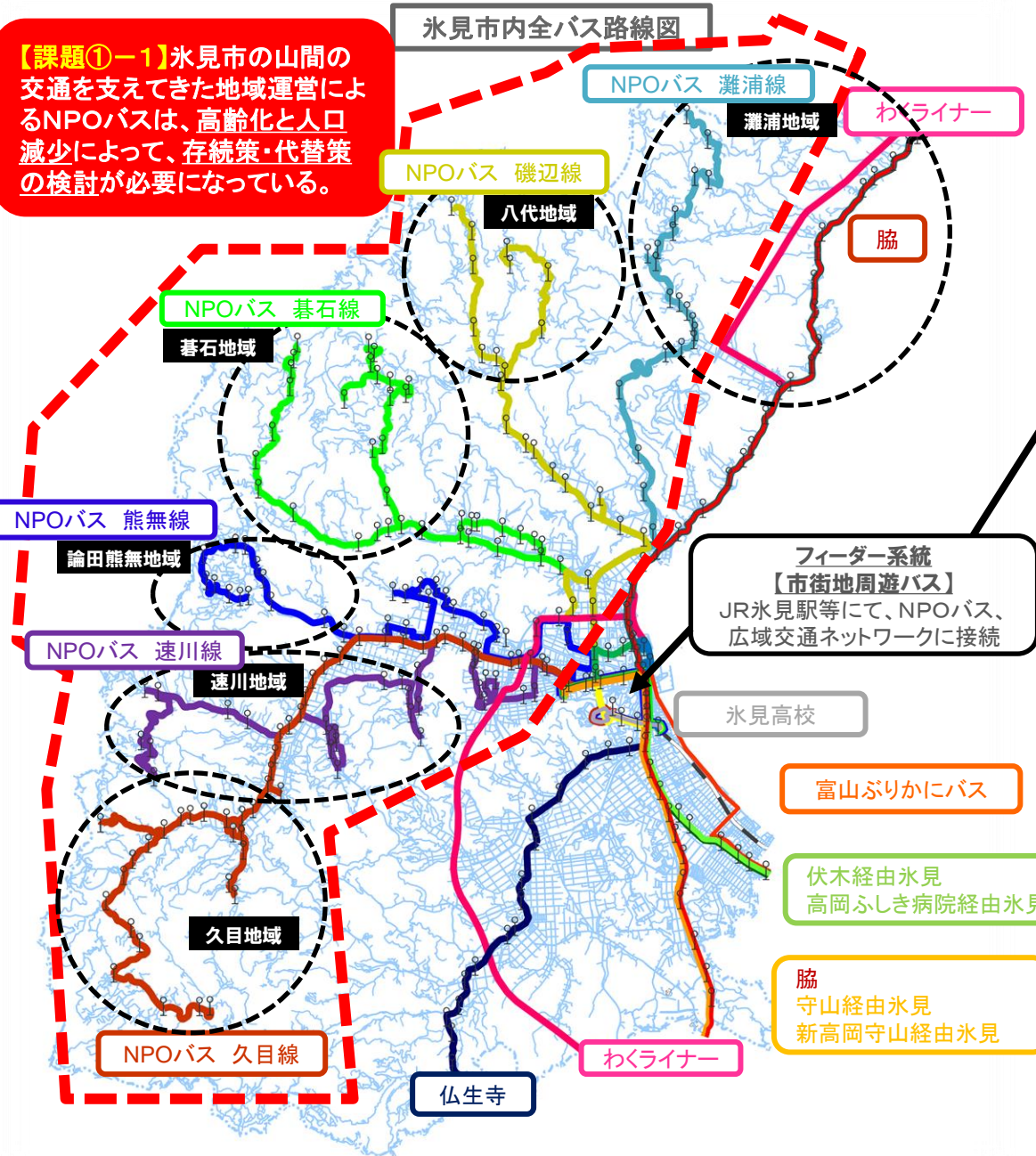


【課題①-1】氷見市の山間の交通を支えてきた地域運営によるNPOバスは、高齢化と人口減少によって、存続策・代替策の検討が必要になっている。

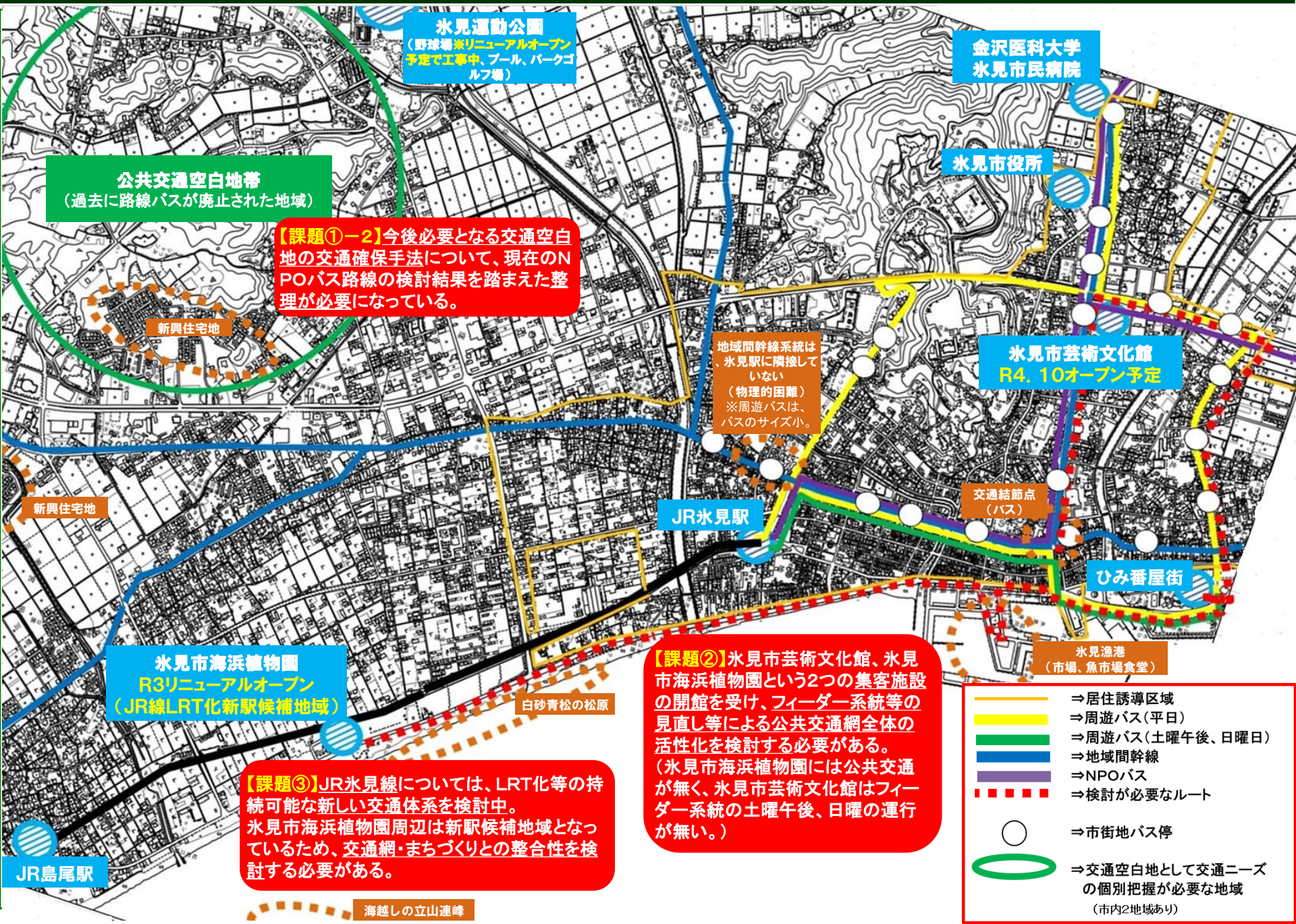
氷見市内全バス路線図



ひみ番屋街経由氷見市民病院	往路 5.3km	復路 5.2km	時間 24分
ひみ番屋街	往路 2.6km	復路 2.5km	時間 12分
市街地循環 (左回り、右回り)	左回り 8.2km	右回り 8.1km	時間 35分
地域間幹線バス			
地域間幹線バス・鉄道と接続するバス停			
道の駅			

■■■■
⇒存続策・代替策の検討が必要な路線

氷見市及び地域公共交通の現況（居住誘導区域図）



氷見運動公園
 (野球場※リニューアルオープン
 予定で工事中、プール、パーク
 ゴルフ場)

**金沢医科大学
 氷見市民病院**

公共交通空白地帯
 (過去に路線バスが廃止された地域)

氷見市役所

【課題①-2】今後必要となる交通空白地の交通確保手法について、現在のNPOバス路線の検討結果を踏まえた整理が必要になっている。

地域間幹線系統は、氷見駅に隣接していない
 (物理的困難)
 ※周遊バスは、バスのサイズ小。

氷見市芸術文化館
 R4.10オープン予定

新興住宅地

JR氷見駅

交通結節点
 (バス)

ひみ番屋街

新興住宅地

氷見漁港
 (市場、魚市場食堂)

氷見市海浜植物園
 R3リニューアルオープン
 (JR線LRT化新駅候補地域)

白砂青松の松原

【課題②】氷見市芸術文化館、氷見市海浜植物園という2つの集客施設の開館を受け、フィーダー系統等の見直し等による公共交通網全体の活性化を検討する必要がある。
 (氷見市海浜植物園には公共交通が無く、氷見市芸術文化館はフィーダー系統の土曜午後、日曜の運行が無い。)

【課題③】JR氷見線については、LRT化等の持続可能な新しい交通体系を検討中。
 氷見市海浜植物園周辺は新駅候補地域となっているため、交通網・まちづくりとの整合性を検討する必要がある。

- ⇒ 居住誘導区域
- ⇒ 周遊バス(平日)
- ⇒ 周遊バス(土曜午後、日曜日)
- ⇒ 地域間幹線
- ⇒ NPOバス
- ⇒ 検討が必要なルート
- ⇒ 市街地バス停
- ⇒ 交通空白地として交通ニーズの個別把握が必要な地域(市内2地域あり)

JR島尾駅

海越しの立山連峰